

一般目標(総論)			
(総論)専門医として、患者、地域の歯科医師および医師や介護職等と連携して、社会の要請に応えるために高齢者歯科診療に関連する基本的知識と診療技術を修得する。 (各論)研修機関での実地臨床研修、症例検討会への参加、学会および研修会等への参加、高齢者歯科診療に関連する発表等の経験を通して、次の5つの項目の能力を身につける。 1) 老年(高齢)患者の歯科診療の実施に必要な基本知識を習得する 2) 歯科訪問診療の実施に必要な基本知識を習得する 3) 摂食・嚥下リハビリテーションの実施に必要な基本的知識・技術を習得する 4) 摂食・嚥下リハビリテーションの実施に必要な知識・技術を習得する 5) 生涯研修, EBMの必要性を理解し, 生涯学習の習慣を身につける			
一般目標(総論)	到達目標(大項目)	中項目	小項目
	I. 高齢者および高齢社会に関する問題について説明できる	1.老年歯科医学の総論を説明できる	1)口腔保健とヘルスプロモーション 2)健康日本21 3)全身と口腔の健康
		2.口腔保健とヘルスプロモーションを説明できる	1)老年症候群(認知機能の特性も含む) 2)老年者の薬物動態
		3.老年者(高齢者)の特性を説明できる	1)認知機能 2)個性と適応 3)中途障害の心理 4)死の受容
		4.老年者の心理学を説明できる	1)行動科学の特性と阻害要因 2)コミュニケーション形成とその阻害要因 3)社会参加とコミュニティ・オーガニゼーション 4)受療パターン(医科と歯科に分けて記述)
		5.老年者の行動科学を説明できる	1)高齢者の食生活・栄養確保と健康状態 2)咀嚼機能と栄養 3)栄養摂取とその問題点(評価について概説)
		6.老年者の栄養管理を説明できる	1)老年者の全身疾患 2)死因と寝たきり状態 3)老年病
		7.老年者の疫学を説明できる	1)患者の権利 2)医師の職業倫理 3)医学研究の倫理 4)個人情報保護 5)リビングウィル 6)緩和ケア(Palliative care) 7)終末期ケア(End of Life Care)
		8.老年者の医療倫理を説明できる	1)国民医療費 2)歯科医療費
		9.老年者の医療経済を説明できる	1)高齢化率(老年人口率) 2)人口構造 3)老年人口 4)老年化指数 5)健康寿命と平均寿命
		10.人口統計を説明できる	1)社会保障 2)医療・保健・福祉に関する法制度 老人福祉法、高齢者医療確保法、介護保険法 健康増進法、歯科口腔保健法(歴史的背景と概要)
健全高齢者のみならず有病もしくは要介護高齢者に対する歯科診療の実施に必要な基本的知識を習得する	II. 高齢者に関する社会保障と医療・保健・福祉を説明できる	1.老年者と法制度を説明できる	1)老人福祉法 2)老人保健法 3)介護保険法 4)高齢者医療確保法
		2.老人福祉法を説明できる	1)老人医療 2)高齢者医療確保法
		3.高齢者医療確保法を説明できる	1)介護保険制度の仕組み (1)介護認定 (2)介護給付と予防給付 (3)要介護 (4)要支援 (5)非該当(地域支援事業の介護予防事業) 2)介護給付 (1)在宅サービス <1>居宅療養管理指導、在宅介護型施設も含む (2)施設サービス <1>介護老人福祉施設(特養) <2>介護老人保健施設(老健) <3>介護療養型医療施設(療養病床など) (3)地域密着サービス
		4.介護保険法を説明できる	3)予防給付 (1)在宅サービス (2)地域密着型サービス 4)地域支援事業 (1)特定高齢者施策 (2)一般高齢者施策
		5.関連法を説明できる	1)健康増進法 2)歯科口腔保健法 3)食育基本法 4)その他
		6.医療・保健・福祉職種を説明できる	1)連携の形態 2)医療職種(歯科医師、医師等) (1)歯科医師、(2)歯科衛生士、(3)歯科技工士 (4)医師、(5)薬剤師、(6)看護師等 (7)放射線技師、(8)臨床検査技師 (9)理学療法士、(10)作業療法士、(11)言語聴覚士 (12)管理栄養士、(13)その他の医療職 3)介護・福祉職種 (1)社会福祉士、(2)介護福祉士、(3)精神保健福祉士 (4)訪問介護員(ホームヘルパー) (5)介護支援専門員(ケアマネジャー)、(6)その他
	III. 加齢と老化について説明できる	1.生物学的加齢変化を説明できる	1)加齢と老化(定義) 2)老化の仮説 3)細胞レベルでの老化 4)個体レベルでの老化
		2.全身的加齢変化を説明できる	1)脳神経系 2)筋肉系 3)骨格系 4)循環器系 5)呼吸器系 6)泌尿器系 7)消化器系 8)内分泌系 9)生殖系 10)免疫系
		3.知的機能の加齢変化を説明できる	1)知的機能 2)心理的因子
	IV. 口腔に関連した加齢と老化について説明できる	1.歯の加齢と老化について説明できる	1)エナメル質 2)象牙質 3)歯髄
		2.歯周組織の加齢と老化について説明できる	1)セメント質 2)歯根膜 3)歯槽骨
		3.口腔粘膜の加齢と老化について説明できる	
		4.唾液腺の加齢と老化について説明できる	1)唾液腺 2)唾液
		5.顎骨・筋と顎関節の加齢と老化について説明できる	1)顎骨 2)筋肉系 3)顎関節
		6.舌の加齢と老化について説明できる	
		7.咽頭・喉頭の加齢と老化について説明できる	
		8.感覚の加齢と老化について説明できる	1)体性感覚 2)特殊感覚(味覚も含む)
		9.機能の加齢と老化について説明できる	1)摂食嚥下機能 2)咀嚼機能 3)発音機能

一般目標(各論)			
	I. 老年(高齢)患者の臨床評価と診療方針の決定について説明できる	1. 老年(高齢)患者に対する歯科診療の進め方について説明できる	1) 診療の流れ 2) 医療面接 3) POS (SOAP等も含む)
		2. 医療情報の収集が実施できる	1) 照会状 2) 全身疾患 3) 臨床検査 4) ADL 5) QOL
		3. 全身の評価が実施できる	1) 全身状態 2) 栄養評価 3) 認知機能 4) 服用薬剤 5) その他問題点
		4. 口腔の評価が実施できる	1) 摂食・咀嚼・嚥下・舌運動 2) 発音・構音 3) 審美 4) 味覚
		5. 医療情報の分析と問題点抽出が実施できる	1) アプロプリエリスト 2) 歯科的問題点 3) 全身的条件 4) その他の諸条件
		6. 診療計画の立案が実施できる	1) 診療方針 2) インフォームドコンセント 3) 診療計画の決定 4) 多職種連携(チーム医療)
老年(高齢)患者の歯科診療の実施に必要な基本知識を習得する	II. 高齢者歯科の臨床について説明できる	1. 歯および歯周組織の疾患について説明できる	1) 齦炎(根面齦炎も含む) 2) 破折と摩耗・咬耗 3) 歯髄・根尖性疾患 4) 歯周病
		2. 歯の欠損への対応について説明できる	1) 義歯補綴 2) クラウンブリッジ 3) インプラント・その他
		3. 軟組織に関連する疾患について説明できる	1) 炎症 2) 腫瘍および腫瘍類似疾患 (1) 歯肉性線維症 (2) 前がん病変 (3) 良性腫瘍 (4) 口腔がん (5) 白血病・悪性リンパ腫 3) 口腔粘膜・皮膚疾患 (1) 口腔カンジダ症 (2) 口腔扁平苔癬 (3) 歯肉性口内炎、口角びらん、口角潰瘍 (4) 口唇疱疹、帯状疱疹 (5) アフタ、褥そう潰瘍 (6) 舌炎
		4. 硬組織に関する疾患について説明できる	1) 骨折 2) 顎関節脱臼 3) BP製剤関連顎骨壊死、顎骨骨髄炎
		5. 神経疾患について説明できる	1) 三叉神経痛 2) 顔面神経麻痺 3) オーラルディスキネジア
		6. 口腔粘膜・唾液腺等の疾患について説明できる	1) 口腔粘膜疾患 2) 唾液腺疾患 3) 口腔乾燥症(ドライマウス) 4) 味覚障害 5) 発音障害
		7. 周術期の歯科処置について説明できる	1) 周術期口腔機能管理 2) 周術期専門的口腔衛生処置 3) 歯科治療(歯周治療も含む)と管理
		8. 老年(高齢)患者に関する薬剤の問題について説明できる	1) 薬物投与の作用・副作用 2) 高齢者慢性疾患に投与される薬物(漢方薬も含む) (1) 全身疾患に対する薬物 (2) 口腔疾患に対する薬物
		9. リハビリテーションについて説明できる	1) 発音・構音 2) その他
		10. 歯科疾患予防とメンテナンスについて説明できる	1) 防蝕の予防 2) 歯周病の予防 3) その他の歯科疾患の予防 4) 治療処置後のメンテナンス
	III. 歯科治療時の管理について説明できる	1. 歯科医療の質と安全の確保について説明できる	1) 医療安全 2) 感染予防
		2. 歯科医療における安全管理について説明できる	1) 高齢者における全身的偶発症の予防、 2) ベイタルサイン 3) モニター管理、 4) 全身的偶発症とリスクマネジメント
		3. 介護技術を実施できる	1) 移乗・車いす操作 2) 治療時の介護
		4. 全身疾患について説明できる	1) 循環器疾患 2) 神経疾患 3) 代謝・栄養疾患 4) 肝・胆・膵疾患 5) 腎・尿路疾患 6) 血液・造血器疾患 7) 呼吸器疾患 8) リウマチ性疾患、アレルギー性疾患、免疫不全 9) 内分泌疾患 10) 精神疾患 11) 消化管疾患 12) その他の疾患
歯科訪問診療の実施に必要な基本知識を習得する	IV. 訪問診療・緩和ケアについて説明できる	1. 訪問診療の制度および体制について説明できる	1) 訪問診療の制度的基盤 2) 病診連携 3) 医科歯科連携 4) 他職種との連携
		2. 歯科訪問診療について説明できる	1) 訪問診療の意義と目的 2) 訪問診療の場と対応 3) 訪問診療用器材
		3. 歯科訪問保健指導について説明できる	1) 医療としての訪問歯科衛生指導 2) 居宅療養指導と訪問歯科衛生指導
		4. 口腔健康管理について説明できる	1) 口腔衛生管理 2) 口腔機能管理 3) 口腔ケア
		5. 緩和ケアについて説明できる	1) 歯科診療 2) 口腔健康管理
摂食・嚥下リハビリテーションの実施に必要な基本的な知識を習得する		1. 摂食嚥下リハビリテーション総論について説明できる	1) 摂食嚥下障害とは 2) 社会的背景(胃腸問題など) 3) 摂食嚥下機能の発達と加齢 4) 成人の摂食嚥下リハビリテーション 5) 小児の摂食嚥下リハビリテーション
		2. 摂食嚥下と関連する解剖・生理について説明できる	1) 解剖 (1) 脳・神経 (2) 口腔、鼻腔、咽頭、嚥頭、食道の構造 (3) 摂食嚥下に関する筋、神経 2) 生理 (1) 摂食嚥下の5期モデル (2) 摂食嚥下のプロセスモデル (3) 嚥下のメカニズム、中枢機構 (4) 咀嚼・嚥下・咽頭の協調運動
		3. 摂食嚥下障害の原因と病態について説明できる	1) 摂食嚥下に関する諸因子 (-) 唾液、栄養、呼吸、姿勢、発声、構音 2) 摂食嚥下障害の原因 (1) 機能的疾患 (2) 器質的疾患 (3) 心理的疾患 (4) 薬剤の副作用 3) 摂食嚥下障害の病態 (1) 咽頭内侵入、誤嚥 (2) 不顕性誤嚥 (3) 口腔内残留、咽頭残留 (4) 重症度分類 4) 摂食嚥下障害の合併症
摂食・嚥下リハビリテーションの実施に必要な知識・技術を習得する	V. 摂食嚥下リハビリテーションについて説明できる	4. 摂食嚥下障害の評価、診断を実施できる	1) スクリーニングテスト (1) 質問票 (2) RSST、MWST、FT、咳テスト、頭部聴診 (3) その他の評価法 2) 嚥下内視鏡検査 (1) 概要、必要物品 (2) 検査法、合併症とその対策 (3) 正常所見と異常所見 (4) 小児に対する嚥下内視鏡検査 3) 嚥下造影検査 (1) 概要、必要物品 (2) 検査法、合併症とその対策 (3) 正常所見と異常所見 (4) 小児に対する嚥下造影検査 (5) 嚥下内視鏡検査との比較
		5. 摂食嚥下障害への対応について説明できる	1) 口腔健康管理 (1) 口腔衛生管理 (2) 口腔機能管理 (3) 口腔ケア 2) 間接訓練 (-) 飲み方、手技 3) 直接訓練 (1) 飲み方、手技手技 (2) 体位、姿勢の調整 4) 食事介助 (1) 食事場面の観察 (2) 食事形態の調整 (3) 姿勢、介助法、自助具、食器 5) 治療的アプローチ (1) PAP、PLP (2) その他の補綴装置 (3) 手術的治療 (4) 薬物療法 (5) リスク管理 (1) 誤嚥への対応 (2) 窒息、嘔吐への対応
生涯研修、EBMの必要性を理解し、生涯学習の習慣を身につける		学術論文の作成を経験する 学会発表を経験する 学術大会、教育研修会に参加する 症例検討会に参加する EBMの重要性を説明できる	